

戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立骨子（案）

ピースくまもと設立準備事務局会

1 熊本に、戦争と平和のミュージアム設立に向けて

戦後73年が目前となり、戦争の証言、体験を語れる人々が激減し、いま戦争のない平和な社会を持続するためにも、この惨劇を次世代に語り継ぐ事が急務です。

私たちがピースくまもと設立準備事務局は、これまで新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」並びに「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会を母体として、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の大切さ認識し、戦争体験の証言会、聞き取り活動、体験の継承を、さらに県内に残された戦争遺跡の調査保存、戦時資料の調査や公開、戦争遺産を通しての地域づくりを進めてきました。本事務局会では、全国各地の平和資料館等の調査を独自に行い、その協議結果を取りまとめながら、県民一人ひとりが主役の「県民運動」として広げ、いま熊本に戦争と平和を考えるミュージアム設立の必要性を痛感しました。今回このように、私たちは設立骨子（案）をとりまとめ、熊本に戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立準備会を発足させ、本骨子案を提案いたします。

2 「ピースくまもと（仮）」の目指す三つの姿

(1) 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承する！

- ①熊本空襲の被害の実態を調べ、記録し、語り継ぐ場
- ②犠牲者の慰霊の場
- ③平成7年熊本市平和都市宣言にそって、多様な慰霊行事につなげる場

(2) 熊本の戦争の歴史とその遺産に学ぶ！

- ①軍都熊本の「戦争の歴史」を学ぶ場
- ②県内の戦争遺産（戦争遺跡や戦時資料、地域づくり）の情報発信の場
- ③貴重な戦争体験「記憶の遺産」に学び、新たな観光の視点を活かした戦争遺産観光ガイドの場

(3) 次の世代が“学び！ 体験し！ ヒトに伝える！”

- ①熊本の戦時資料を調査し、収集し、バーチャルミュージアムとして発信する場
- ②証言や語りを通して次の世代が、熊本の戦争の実相を学び、現在の戦争を考える平和学習の場
- ③十五年戦争全般に関わる5,000点に及び戦時資料・書籍等を通し、ユングマンプロジェクト等の体験学習にもからめ、次の世代に語り継ぐ場
- ④次世代の子ども達が「Peace Messengers」を発信する場

3 設立に向け「県民運動」として広げたい！

(1) 上記の三つの姿の実現に向け設立趣意書等を作成し、賛同者を募り、活動内容等を広く協議し、平和ミュージアムの設立を目指す。

(2) 多様な活動を企画し、運動を広げる。

(3) くまもと戦跡ネットHP内に「ピースくまもと（仮）」設立準備事務局会の紹介HPを設置する。

(<http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>)
協議状況、活動内容等も紹介し、問い合わせフォームにて、県民からの多くの意見を聞き活動に反映させる。